



西川小学校だより

第15号
R7. 1.15
校長 林 敏幸

令和7年もよろしくお願いたします



1月8日(火)、3学期始業式が行われました。全員で体育館に集まり、顔を合わせて行いました。2025年は「巳年」です。へびについていろいろ調べてみると、たくさんの面白い性質があり、クイズにして紹介しました。中でも脱皮することは大きな特徴の一つで、脱皮した皮は縁起物として財布の中に入れる人もいます。子どもたちには、今までの自分から脱皮して、新しい目標に向かってチャレンジしてほしいですね。今年もどうぞよろしくお願いたします。

文字に新年の思いを込めて ～書き初め大会～



1月8日(火)、今年最初の学習は「書き初め」です。4年生以下は各教室やワークスペースで、5・6年生は体育館で行いました。

子どもたちは冬休みの練習の成果を発揮しようと、一文字ずつ力を込めて書いていきます。一文字書いては字をながめ、首をひねったり、納得の表情を浮かべたりするなど真剣そのものでした。

特に体育館は、凜とした空気に包まれ、どの子も集中して筆をはらせていました。今日の一文字に込めた思いを大切に、脱皮をくり返して大きくなるへびのように、次の学年に向けてレベルアップしてほしいと願っています。



書き初め展 日時 1月14日(火)～24日(金)まで
時間 9:00～16:50 西川小多目的ホール

育てたこんにやく芋を使って ～4年生「総合的な学習」～

12月20日(木)、4年生が、収穫したこんにやく芋を使って、こんにやくづくりに挑戦しました。

講師の奥山和茂先生が、前々日から下準備をしてくださり、いよいよこんにやくづくりに。玉こんにやく、角こんにやく、糸こんにやくの三種類をつくりました。子どもたちが特におどろいたのは「糸こんにやく」です。まずは奥山先生特製の道具にねばねばしたこんにやくを入れます。その上のふたを力いっぱい推すと、ところてんのようになってこんにやくが落ちてきます。見ている子どもたちはびっくり。実際に作業をしてみると、予想以上に力が必要で、さらに驚いていました。

翌日は、つくったこんにやくを使って芋煮をつくりました。総合的な学習で調べてきた町の特産品(パスタやそば)も調理し、豪華なごちそうができあがりました。そのどれもがおいしく、子どもたちは大満足でした。ご協力いただいた先生や、参加してくださった保護者の皆様、ありがとうございました。



大人の体になるということ

～5, 6年生「性に関する講話」

12月12日(木)、さとこ女性クリニックの井上聡子先生から「大人の体になること」について、5, 6年生にお話しいただきました。

男の子も女の子も、それぞれ大人になる過程で悩むことがあると思いますが、一人で悩むのではなく、相談できる人や場所があるということを教えていただきました。

子どもたちは全員真剣な顔で聞いていました。

6年生は昨年に続いて2回目の授業でしたが、学年が上がるとまた違った気持ちで聞くことができる様子です。すてきな大人になるために、大切な学習をすることができました。



九九の学習がんばっています



2年生の算数の学習で、一番心に残る九九の学習が始まっています。2年生は教室をとび出して、5年生の教室へ行きました。そして、5年生のお兄さん、お姉さんに緊張しながら九九暗唱の成果を披露しました。カードに印をもらってうれしそうな笑顔を見て、5年生もにっこり笑顔になりました。

